

科目名	VT (1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ヴォイストレーナー歴10年以上						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のC までを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のC までを歌い動画チェックする
9		講義・演習	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
10		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
11		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験と復習	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ヴォイストレーナー歴10年以上						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	呼吸・姿勢・発声の再確認	呼吸・姿勢・発声を動画チェックする
2		講義・演習	共鳴・声の響きにフォーカスしたトレーニング	共鳴・声の響きを動画チェックする
3		講義・演習	音域拡大エクササイズ	高音域に挑戦する
4		講義・演習	発音・滑舌トレーニング	トレーニングを動画チェックする
5		講義・演習	速いフレーズの歌唱練習	速いフレーズの歌唱を動画チェックする
6		講義・演習	ダイナミクスのある歌唱練習	ダイナミクスのある歌唱を動画チェックする
7		講義・演習	テンポ感のある歌唱練習	テンポ感のある歌唱を動画チェックする
8		講義・演習	感情表現のトレーニング	感情表現を動画チェックする
9		講義・演習	呼吸のコントロールとフレージング	呼吸のコントロールとフレージングを動画チェックする
10		講義・演習	歌詞を活かした表現	歌詞を活かした表現を動画チェックする
11		講義・演習	ハーモニーの聴き取りと合わせ方	ハーモニーの聴き取りと合わせ方を動画チェックする
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験と復習	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (1) (DTM Basic (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。 またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、東海オンエア、アバンティーズ、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWソフト Apple GarageBand、Logic Proの基本的な使用技術から応用までを学習する。						
到達目標	・MIDI入力(打ち込み)をスピーディーに行えるようになる。 ・Logic内蔵プラグインと音源の基本的な使用法をマスターする。 ・基本的なミキシング技術を身につける。 ・Logicに用意されている様々な機能を理解し、実際の曲作りの中で役立てるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) 楽曲のクオリティ:70% ミキシングのバランス:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Macの起動から使い方の学習とLogicの起動	授業内容の復習
2		講義・演習	Logicに用意されている各編集画面の名称や機能の説明	授業内容の復習
3		講義・演習	ループ素材(Apple Loops)を使用したトラック制作1	授業内容の復習と配布したデータの整理
4		講義・演習	ループ素材(Apple Loops)を使用したトラック制作2	授業内容の復習と配布したデータの整理
5		講義・演習	Drummerについて学習	Drummerについて復習
6		講義・演習	Live Loopsについて学習	授業内容の復習と配布したデータの整理
7		講義・演習	これまでに学んだ内容を実施して1コーラス楽曲制作	他の学生が制作した楽曲も参考にする
8		講義・演習	オートメーションを学習	オートメーションの仕組みを復習
9		講義・演習	ミキサー画面について学習	ミキサー画面の使い方を復習
10		講義・演習	ムービーをLogicに読み込んでの映像音楽の制作	授業内容の復習と配布したデータの整理
11		講義・演習	オーディオ・レコーディング実習	授業内容の復習と録音したデータの整理
12		講義・演習	前回の授業でレコーディングした素材のエディットと修正。テイクのコンピング作業	授業内容の復習と配布したデータの整理
13		講義・演習	1コーラス楽曲制作	試験対策・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (1) (DTM Advance (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、東海オンエア、アバンティーズ、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWソフト Apple Logic Proの実践的な使用法を学習。						
到達目標	・Logicでの作曲からミキシング作業をスピーディーかつ的確に行えるようになる。 ・制作した楽曲により一層磨きをかけ、仕事で納品できるクオリティーに仕上げれる。 ・クリエイターとして必須となっているミキシング技術を習得する。 ・Logicに用意されている様々な機能やプラグインを実践的に使いこなし、プロの現場で役立てるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) 楽曲のクオリティ:70% ミキシングのバランス:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ショートカットのカスタム。ワークフローに適したスクリーンセットの作成。	授業内容の復習
2		講義・演習	Drummerをパラアウト設定しキック、スネア、ハイハットなど個別のプラグイン処理を行う	授業内容の復習
3		講義・演習	Flexを使用したピッチ修正とタイミング補正1	授業内容の復習
4		講義・演習	Flexを使用したピッチ修正とタイミング補正2	授業内容の復習
5		講義・演習	オートメーションの活用1	授業内容の復習
6		講義・演習	オートメーションの活用2	授業内容の復習
7		講義・演習	コンプレッサーなどダイナミクス系プラグインの学習1	授業内容の復習
8		講義・演習	コンプレッサーなどダイナミクス系プラグインの学習2	授業内容の復習
9		講義・演習	イコライザーの学習	授業内容の復習
10		講義・演習	オーディオ・レコーディング実習	授業内容の復習と録音したデータの整理
11		講義・演習	オーディオ・レコーディング実習2。レコーディングしたテイクのコンピング作業	授業内容の復習と録音したデータの整理
12		講義・演習	試験データの配布。データを取り込んだの事前準備	配布したデータの確認と整理
13		講義・演習	1コーラス楽曲制作	試験対策・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (2) (DTM Basic (2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯汲 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、東海オンエア、アバンティーズ、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWソフト Apple Logic Proの実践的な使用法を学習。						
到達目標	・Logicでの作曲からミキシング作業をスピーディーかつ的確に行えるようになる。 ・制作した楽曲により一層磨きをかけ、仕事で納品できるクオリティに仕上げれる。 ・クリエイターとして必須となっているミキシング技術を習得する。 ・Logicに用意されている様々な機能やプラグインを実践的に使いこなし、プロの現場で役立てるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) 楽曲のクオリティ: 70% ミキシングのバランス: 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ピアノロールウインドウを使用した打ち込み	授業内容の復習
2		講義・演習	ステップシーケンサーを使用した打ち込み	授業内容の復習
3		講義・演習	Logic内蔵音源について学習1	授業内容の復習
4		講義・演習	Logic内蔵音源について学習2	授業内容の復習
5		講義・演習	Logic内蔵プラグインについて学習1	授業内容の復習
6		講義・演習	Logic内蔵プラグインについて学習2	授業内容の復習
7		講義・演習	オートメーションを学習(応用編)	授業内容の復習
8		講義・演習	ミキシングの学習。既存曲のデータを使用し てのミックス実習1	授業内容の復習と配布したデータの整理
9		講義・演習	ミキシングの学習。既存曲のデータを使用し てのミックス実習2	授業内容の復習と配布したデータの整理
10		講義・演習	Flexを使用したピッチ修正	授業内容の復習と配布したデータの整理
11		講義・演習	Drummerをパラアウト設定しキック、スネア、 ハイハットなど個別のプラグイン処理を行う	授業内容の復習
12		講義・演習	ショートカットのカスタム。ワークフローに適し たスクリーンセットの作成	授業内容の復習
13		講義・演習	1コーラス楽曲制作	試験対策・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (2) (DTM Advance (2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。 またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、東海オンエア、アバンティーズ、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWソフト Apple Logic Proの実践的な使用法を学習。						
到達目標	・Logicでの作曲からミキシング作業をスピーディーかつ的確に行えるようになる。 ・制作した楽曲により一層磨きをかけ、仕事で納品できるクオリティに仕上げれる。 ・クリエイターとして必須となっているミキシング技術を習得する。 ・Logicに用意されている様々な機能やプラグインを実践的に使いこなし、プロの現場で役立てるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) 楽曲のクオリティ:70% ミキシングのバランス:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ドラムトラックのトリガー	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
2		講義・演習	オーディオのタイムストレッチ、波形編集1	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
3		講義・演習	オーディオのタイムストレッチ、波形編集2	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
4		講義・演習	オーディオデータの位相について	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
5		講義・演習	MIDIトラックをオーディオに変換	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
6		講義・演習	トラックのグループ化とフォルダについて	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
7		講義・演習	サイドチェーンの学習	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
8		講義・演習	Live Loopsについて学習	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
9		講義・演習	映像データをLogicに取り込んでの楽曲制作	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
10		講義・演習	ミックスについて学習	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
11		講義・演習	ミックスとマスタリングについて学習	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
12		講義・演習	各配信サイトのラウドネスノーマライゼーションについて学習	授業内容の復習と配布したデータの確認、整理
13		講義・演習	1コーラス楽曲制作とミックス作業	試験対策・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。講師活動は8年以上。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	各DAW Strings Expression,Articulationの入力方法とコツを習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Dance Pop曲を使ってオートメーションを使えるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	トロピカルハウスの作り方を習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	LofiBeatのサウンドデザインを学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	vocal素材を使ってVocalCutUpの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	Dolphinボイスの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	生楽器とシンセのレイヤーを使えるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	FutureBassの作り方 (シンセサイザー編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	FutureBassの作り方 (生楽器編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	Dubstep (GlowlBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	Dubstep (ColourBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイデアを用意しておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。講師活動は8年以上。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。1	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。2	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	2Stepの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	ガールズクラッシュ楽曲を用いて力強いPopsを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	SlapBassやエレビがカウンターに入ってくFutureBass楽曲を用いてダンスブレイクの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	アラビックスケールなどを用いてEDM調のTrapを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	KpopDeepHouseの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	NewJackSwing曲を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	音ゲーに使われているトランス曲を使って早いフレーズを学び作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	スクリーチシンセの作り方を習得する。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	FMシンセを使って簡単なBassHouseを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	FMシンセを使ってSkrillexのようなサウンドを出せるようになる。(Supersonic)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイデアを用意
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	業界の仕事をするということ。授業を受けるうえでの心構え	授業内容を自主練習
2		講義・演習	筋トレストレッチによる体づくり	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アイソレーションなどの基礎	授業内容を自主練習
4		講義・演習	基礎的な体の動かし方	授業内容を自主練習
5		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
6		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
7		講義・演習	簡単な振付	授業内容を自主練習
8		講義・演習	簡単な振付にリズム感を入れる	授業内容を自主練習
9		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を自主練習
10		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を自主練習
11		講義・演習	前週のトレーニング	授業内容を自主練習
12		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出口
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	業界の仕事をするということ。授業を受けるうえでの心構え	授業内容を自主練習
2		講義・演習	筋トレストレッチによる体づくり	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アイソレーションなどの基礎	授業内容を自主練習
4		講義・演習	基礎的な体の動かし方	授業内容を自主練習
5		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
6		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
7		講義・演習	簡単な振付	授業内容を自主練習
8		講義・演習	簡単な振付にリズム感を入れる	授業内容を自主練習
9		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を自主練習
10		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を自主練習
11		講義・演習	前週のトレーニング	授業内容を自主練習
12		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT advance(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	相澤なな み 潤豊 橋本美沙
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる口	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック	
2		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする	
3		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック	
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする	
5		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする	
6		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする	
7		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする	
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
9		講義・演習	高度な歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
10		講義・演習	高度な歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
11		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる口	アカペラアンサンブルを動画チェックする	
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	VT advance(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	相澤なな み 潤豊 橋本美沙
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
11		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
12		講義・演習	高度な歌唱アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2019年よりバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Guitar(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	楽曲に応じた適切な音作り・フレージングができる スケールやコードトーンを用いた実践的アドリブ演奏ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意曲を1曲用意(1コーラス) 自分の課題(苦手なこと)を3つ書き出す
2		講義・演習	ピッキング&ニュアンス再構築	スケール1つ(例:ペンタ)で自由に弾く練習 自分の演奏を録音しておく
3		講義・演習	ダイナミクスと“間”	好きなギタリストの演奏を1つ分析 (どこで音が減るか／止まるか)
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	RockとPopの曲を1曲ずつ聴いて違いメモ コード進行を確認してくる
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	16分ストローク練習(ミュート多め) 簡単なファンク曲を聴く
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	7thコードを全ポジションで確認 R&B系ギター動画を見る
7		講義・演習	中間準備(課題曲制作)	中間課題曲をほぼ完成させる 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番として仕上げてくる
9		講義・演習	アドリブ①(基礎構造)	ペンタ or メジャースケール復習 簡単なコード進行確認
10		講義・演習	アドリブ②(会話型)	短いフレーズを3つ作ってくる リズムバリエーション練習
11		講義・演習	アレンジ基礎	アレンジしたい曲を決める コード進行を書き出す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	自分のパートを録音してくる 他パートを想像して演奏する
13		講義・演習	最終発表	本番用に仕上げる(録音でもOK) 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Guitar(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	トーンメイク(音作り)	使用機材整理 自分の音を録音して課題抽出
3		講義・演習	フレーズデザイン	自作フレーズ3つ作る 良いフレーズの分析
4		講義・演習	ジャンル融合	異なるジャンル2つ選び比較 ミックス案考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 コード・構造分析
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンブル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識して練習 バックイング中心で練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Bass(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山本 詠
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、“バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	コード進行に基づいたライン構築ができる 他パートとの関係を意識した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意フレーズを準備 ベースで意識していることを書き出す
2		講義・演習	タイム感とグルーヴ①	クリックに合わせて1音弾き続ける練習 自分のリズムのズレを確認
3		講義・演習	タイム感とグルーヴ②	休符を意識したフレーズ作成 ファンク系楽曲を聴く
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ルート弾き曲を1曲コピー ドラムを聴く習慣をつける
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	右手ミュート練習 簡単なファンクラインをコピー
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	3度・7度を探す練習 ゆっくりラインを歌う
7		講義・演習	中間課題準備	自分の演奏を録音 改善点メモ
8		講義・演習	中間発表	本番状態まで仕上げる
9		講義・演習	ライン構築①(基礎)	簡単なコード進行を書き出す 自分でラインを作る
10		講義・演習	ライン構築②(発展)	自作フレーズを3つ作る 歌うように弾く練習
11		講義・演習	アレンジと役割理解	曲構造を理解する(A/B/サビ) ベースが変わる箇所を探す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	他パートを意識して録音 音数を減らしてみる
13		講義・演習	最終発表	録音または本番準備 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Bass(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山本 詠
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、 グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、 “バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドメイク	自分の音を録音 音の課題把握
3		講義・演習	ラインデザイン①	ルート中心ライン作成 不要な音削る練習
4		講義・演習	ラインデザイン②	フレーズ3つ自作 “歌える”ライン考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 元ラインをコピー
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンブル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	ドラムを聴く グルーヴ練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Drum(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	楽曲に応じて適切なビートを選択できる 他パートと連動した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	得意パターンを1つ演奏準備 自分の強み・弱みを書き出す
2		講義・演習	タイム感トレーニング①	BPM固定で単純ビート継続練習 録音してズレを確認
3		講義・演習	タイム感トレーニング②	同じビートを前後ノリで叩き分け 好きなドラマーのノリ分析
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ロック/ポップを聴き比べ 基本パターンを叩き分け
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	スネアの弱打練習 ファンクを聴いてノリを感じる
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	音数を減らしたビート叩く R&B系ドラマーの研究
7		講義・演習	中間課題準備	曲を通して演奏できる状態にする 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番レベルで準備
9		講義・演習	フィルイン構築①	2拍・1小節フィルを作る フィルばかり叩かない練習
10		講義・演習	フィルイン構築②	自作フィル3パターン 強弱をつける練習
11		講義・演習	楽曲構造とドラミング	曲構成を分析 セクションごとの叩き分け
12		講義・演習	アンサンブル実践	他パート意識で演奏 音を聴く練習(自分8:周り2→逆へ)
13		講義・演習	最終発表	本番想定で仕上げ 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Drum(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲＋即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドコントロール	タッチ意識練習 録音確認
3		講義・演習	フィルデザイン①	フィル3種作る
4		講義・演習	フィルデザイン②	強弱つきフィル練習
5		講義・演習	アレンジ実践①	対象曲のドラム譜 or 耳コピ 自分なりの別案1つ考える
6		講義・演習	アレンジ実践②	曲構成を書き出す 各セクションで叩き分け案
7		講義・演習	セッション対応①	シンプルビート大量反復
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業オリエンテーション、同期音源とは何か	同期音源についてレポート作成
2		講義・演習	クリックトラックに合わせてのリズムトレーニング	リズムトレーニングを実施
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①（前半）	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①（後半）	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②（前半）	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②（後半）	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③（前半）	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③（後半）	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④（前半）	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④（後半）	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤（前半）	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤（後半）	楽曲練習
13		講義・演習	前期総括演奏	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	後期オリエンテーション・課題曲の提示	課題曲をまとめる
2		講義・演習	楽曲内でのテンポ・拍子の変更への対応(基礎編)	楽曲練習
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(前半)	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(後半)	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(前半)	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(後半)	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(前半)	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(後半)	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(前半)	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(後半)	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(前半)	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(後半)	楽曲練習
13		講義・演習	最終発表フィードバック・授業のまとめ	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT Advance(7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近原淳博
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる口	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
11		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる口	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT Advance(8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	近原淳博
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
11		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする
12		講義・演習	高度な歌唱アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等で40年以上ギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。□						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。□						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアナライズ。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。60年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。70年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。80年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。90年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit3課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit4課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit5課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等で40年以上ギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。□						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→③FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。□	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアンサンブル。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のシンプルな曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第2週目。60年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第3週目。70年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第4週目。80年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第5週目。90年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第3週目。Funk Tune Unit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第4週目。Funk Tune Unit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第5週目。Funk Tune Unit5課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山田 豪
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	初回アンサンブル曲について譜面と音源を参考に予習しておく。FUNKの名曲を調べてノートにまとめる。	
2		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
3		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
4		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
5		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
6		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
7		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
8		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
9		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
10		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
11		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
12		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Rock Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山田 豪
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
2		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
3		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
4		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
5		講義・演習	90年代中期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
6		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
7		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
8		講義・演習	イベント発表に向けた課題曲についてアンサンブルを行う。	バンド練習を行う。バンドミーティングを行い、制作物の作成を進める。	
9		講義・演習	楽曲にあった衣装を決め、パフォーマンスを考え、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行う。バンドのアー写を撮り、更に制作物の作成を進める。	
10		講義・演習	MC、コーラスを踏まえ、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。録音してみる。	
11		講義・演習	数十バンド出演のショーとして転換、セッティングを考慮し、パフォーマンスを実践する。発表会に向けたリハーサルをPAや照明スタッフと共に進めていく。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。セッティングを繰り返し行い、音質の向上を目指す。PA、照明スタッフとの関係性を理解し、打合せ等を行い、協同作業で進めていく事の理解を深めていく。	
12		講義・演習	映像撮影とパフォーマンスを、パフォーマンスを実践する。発表会に向けた最終リハーサルをPAや照明	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。映像撮影してみる。最終リハーサルで気づいたことを記録しておく。改善していく。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Funk Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小寺良太
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。2010年代のFUNKから入り、FUNKの楽しさを知る。	Unit1の復習。FUNKの名曲を調べる	
2		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit2の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。	
3		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。難易度の低いFUNK曲でシンプルなノリを重視する。	Unit2の復習。ルーツとなるジャンルを検証する	
4		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回Unit3の課題曲の予習をする。	
5		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。ディスコミュージックを課題曲にダンスミュージックの楽しさを知る。	Unit3の復習。FUNKの名曲を調べ、視聴する。	
6		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit4の課題曲の予習	
7		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。1980年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit4の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
8		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit5の課題曲の予習	
9		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。1970年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit5の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
10		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit6の課題曲の予習	
11		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。難易度の高いFUNK曲にチャレンジする。	Unit6の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
12		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	中間発表に向けて練習する。	
13		講義・演習	前期のまとめとして中間発表を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Funk Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小寺良太
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	卒業制作展までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit7の復習。FUNKの名曲を調べる	
2		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit7の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。	
3		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit8の復習。ルーツとなるジャンルを検証する	
4		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回卒業制作展の課題曲の予習をする。	
5		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
6		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
7		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。	
8		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	次回Unit9の課題曲の予習	
9		講義・演習	課題曲Unit9のアンサンブル。卒業制作展課題曲とは異なる楽曲に取り組む。	Unit9の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。	
10		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展データ取り12/19に向けて練習する	
11		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)	
12		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)	
13		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	R&B Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	前田逸平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	R&Bアンサンブルについての概要説明。 Unit0課題曲のアンサンブルを実践。	授業で学んだ内容について復習。Unit1楽曲の予習。
2		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
3		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	Unit1楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit2楽曲の予習。
4		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
5		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	Unit2楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit3楽曲の予習。
6		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
7		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	Unit3楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit4楽曲の予習。
8		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
9		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	Unit4楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit5楽曲の予習。
10		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
11		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	Unit5楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit6楽曲の予習。
12		講義・演習	中間発表に参加し、チームでの制作準備や練習に取り組む。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
13		講義・演習	中間発表で本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう体調管理を含めた自己管理の大切さを学び、本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	R&B Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	前田逸平
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中間発表に向けてのリハーサル、練習を行う。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
2		講義・演習	中間発表に参加し、本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう、体調管理を含めた自己管理の大切さを学ぶ。本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
3		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
4		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(1)について達成出来たこと、引き続き 課題なことを発見する。次週楽曲の予習。
5		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
6		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(2)について達成出来たこと、引き続き課題な ことを発見する。Voオーディションに向け準備。
7		講義・演習	WeAre楽曲、ボーカルオーディションを行う。	自分の担当曲以外も歌唱、演奏できるように 準備しておく。
8		講義・演習	Motownメドレー、曲サイズ、アレンジの確認。	1曲あたりが短いので、各曲のイメージをより はっきりと掴んでおく。
9		講義・演習	Motownメドレー、曲間、転換の確認。	メドレー内での転換がスムーズにいくように、音作りや立 ち位置、マイクの受け渡しなど明確にしておく。
10		講義・演習	Motownメドレー、振り付け、衣装など本番準備 の確認。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際のアーティスト達の映像や写真を見て、 動きや立ち姿、衣装の研究をする。
11		講義・演習	X'masソングのアンサンブルを実践する。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際に通してみでの改善点などを発見し、ブ ラッシュアップする。次週曲の予習。
12		講義・演習	卒業・進級制作に参加し、チームでの制作準 備や練習に取り組む。	X'masヒットソングのレパートリーを増やす。
13		講義・演習	卒業・進級制作で本番経験を積む。	衣装、転換など含めた最終RH。良いイメージを固めて本 番に向けて各々仕上げ&体調管理を徹底する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	Band Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	田原佑一 朗
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして数多くのステージに立ち、国内外で活躍中。また、ハーバード大学卒・教育工学博士の上田信行氏より学習デザインを学び教育×音楽×学習環境を実践し、ワークショップや学びの空間を創造している。						
授業の学習 内容	4年間の学びの集大成として、卒業制作をする。 セトリスト・課題曲の資料の作成を自ら行い、学期末でワンマンライブを実施する。						
到達目標	アーティストとしての自己表現はもちろん、音楽業界で生きていくうえで必要な知識を身につけ、ライブ制作をする。						
評価方法と基準	出席率と授業内での理解度と積極性の度合い。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス・セトリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
2		講義・演習	ガイダンス・セトリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
3		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
4		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
5		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
6		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
7		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
8		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
9		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブの構成を考えて、発表する。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
10		講義・演習	課題曲のアンサンブル イメージの共有とライブに向けた準備。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
11		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブに向けて最終調整。	発表会の本番資料の作成。
12		講義・演習	ライブ(発表会)に向けたリハーサル	ライブの構成を考えて、資料を準備する
13		講義・演習	ライブ実践(発表会)	ライブの構成を考えて、資料を準備する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Band Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	田原佑一 朗
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとして数多くのステージに立ち、国内外で活躍中。また、ハーバード大学卒・教育工学博士の上田信行氏より学習デザインを学び教育×音楽×学習環境を実践し、ワークショップや学びの空間を創造している。						
授業の学習 内容	4年間の学びの集大成として、卒業制作をする。 セットリスト・課題曲の資料の作成を自ら行い、学期末でワンマンライブを実施する。						
到達目標	アーティストとしての自己表現はもちろん、音楽業界で生きていくうえで必要な知識を身につけ、ライブ制作をする。						
評価方法と基準	出席率と授業内での理解度と積極性の度合い。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス・セットリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
2		講義・演習	ガイダンス・セットリスト作成	授業内容を理解し、課題曲の資料を作成する
3		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
4		講義・演習	課題曲のアンサンブル バンドでのコミュニケーションについて学ぶ。	課題曲の資料作成
5		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
6		講義・演習	課題曲のアンサンブル 自己表現の研究をする。	課題曲の資料作成
7		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
8		講義・演習	課題曲のアンサンブル パフォーマンス実践。	課題曲の資料作成
9		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブの構成を考えて、発表する。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
10		講義・演習	課題曲のアンサンブル イメージの共有とライブに向けた準備。	課題曲の資料作成、ライブの構成を考える。
11		講義・演習	課題曲のアンサンブル ライブに向けて最終調整。	発表会の本番資料の作成。
12		講義・演習	ライブ(発表会)に向けたリハーサル	ライブの構成を考えて、資料を準備する
13		講義・演習	ライブ実践(発表会)	ライブの構成を考えて、資料を準備する
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末 信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに動く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。□						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	池末 信
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATHICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4		講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6		講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9		講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (7)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大学までスポーツ推薦で進み、在学中に教員免許(中高一種/英語)を取得。就職活動で一般企業に就職して営業成績No.1を獲得した後、フリーランスとして独立。その後、スカウトされてバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション(前期)	様々なエンターテインメントを摂取する
2		講義・演習	SNSマーケティングとリスクについて	SNSを動かしてみる
3		講義・演習	炎上対策とその必要性	SNSでの様々なトラブルについて気にかけてみる
4		講義・演習	自己表現の必要性和トレーニング	ロールモデルとなる人を見つける
5		講義・演習	リスク管理(SNSリテラシー)	日々のリスクについて日常で意識してみる
6		講義・演習	YouTubeのアルゴリズム	YouTube視聴の際に何故クリックしたのかを考える
7		講義・演習	YouTubeのアルゴリズムからの戦略	自分だったらどうするか考えながらYouTubeを見る
8		講義・演習	SNSマーケティング	普段見るYouTube動画のタイトルに着目してみる
9		講義・演習	自己分析とブランディング	自分の好きな事・嫌いな事を明確にする
10		講義・演習	トークスキルを紐解く	推し配信者を見てトークの何が面白いのか考察する
11		講義・演習	案件受注と企業対応	どんなPRなら自分が課金してもいいのか考える
12		講義・演習	ショート動画基礎	ショート動画をみて何故その動画が面白いのか考察
13		講義・演習	前期のまとめと質疑応答	休み前に聞いておきたい事をまとめておく
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vtuber マネジメント (8)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	禰好亭 めてお
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大学までスポーツ推薦で進み、在学中に教員免許(中高一種/英語)を取得。就職活動で一般企業に就職して営業成績No.1を獲得した後、フリーランスとして独立。その後、スカウトされてバーチャルYouTuberとしての活動を開始。現在はYouTube等での悩み相談配信や情報発信活動の他、イベントMC、TVやラジオへの出演、専門雑誌などでのコラム執筆等の依頼も受けている。講師実績は300コマを突破。						
授業の学習 内容	VTuberやネットアーティストとして活動していく上で大切な基礎知識をはじめとして、「リテラシー」「SNSの運用」「ビジネスマナー」「マネタイズ」「ブランディング」「セルフプロデュース」「企画実行力」等を中心として、1人の活動でも事務所に所属しても、タレントとしてやっていけるスキルを学び、裏方でもやっていける実力を培う土台とする。						
到達目標	・インフルエンサーとして活動するための土台をつくる ・SNS活用のリスクを知った上で着実に伸ばす知識をつける ・自身で企画した配信やイベントを実行する力を培う ・将来を考えて目標を立て、それに向かって進む準備を整える						
評価方法と基準	出席 意欲 課題提出や実技等						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	前期学んで実行したことをまとめておく
2		講義・演習	前期の試験課題についての考察	様々なリスクについて意識してSNSを利用する
3		講義・演習	コラボ企画と大型企画	将来の目標について
4		講義・演習	コラボ企画立案①(企画)	コラボ企画をYouTube等で見てみる
5		講義・演習	コラボ企画立案②(計画/依頼/広報/プレスリリース)	次回の発表に向けた準備
6		講義・演習	コラボ企画立案③(発表)	やってみての振り返りを自分なりにまとめておく
7		講義・演習	業界に関わる職種	業界の裏方にどんな仕事があるか想像する
8		講義・演習	マネタイズとビジネス展開	ロールモデルの人がどう稼いでるか考察する
9		講義・演習	サムネイルについての考察	YouTubeで伸びているものを見て学ぶ
10		講義・演習	トークスキルについての振り返りと1分間スピーチ	日頃から語れるネタを集めておく
11		講義・演習	ポートフォリオの必要性和制作	まとめられる実績は書き出しておく
12		講義・演習	2026年の目標設定と将来設計	2026年の目標を立てる
13		講義・演習	後期の振り返りとまとめ	最後に質問したい事をまとめておく
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Guitar(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	楽曲に応じた適切な音作り・フレージングができる スケールやコードトーンを用いた実践的アドリブ演奏ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意曲を1曲用意(1コーラス) 自分の課題(苦手なこと)を3つ書き出す
2		講義・演習	ピッキング&ニュアンス再構築	スケール1つ(例:ペンタ)で自由に弾く練習 自分の演奏を録音しておく
3		講義・演習	ダイナミクスと“間”	好きなギタリストの演奏を1つ分析 (どこで音が減るか／止まるか)
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	RockとPopの曲を1曲ずつ聴いて違いメモ コード進行を確認してくる
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	16分ストローク練習(ミュート多め) 簡単なファンク曲を聴く
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	7thコードを全ポジションで確認 R&B系ギター動画を見る
7		講義・演習	中間準備(課題曲制作)	中間課題曲をほぼ完成させる 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番として仕上げてくる
9		講義・演習	アドリブ①(基礎構造)	ペンタ or メジャースケール復習 簡単なコード進行確認
10		講義・演習	アドリブ②(会話型)	短いフレーズを3つ作ってくる リズムバリエーション練習
11		講義・演習	アレンジ基礎	アレンジしたい曲を決める コード進行を書き出す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	自分のパートを録音してくる 他パートを想像して演奏する
13		講義・演習	最終発表	本番用に仕上げる(録音でもOK) 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Bass(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山本 詠
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、“バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	コード進行に基づいたライン構築ができる 他パートとの関係を意識した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意フレーズを準備 ベースで意識していることを書き出す
2		講義・演習	タイム感とグルーヴ①	クリックに合わせて1音弾き続ける練習 自分のリズムのズレを確認
3		講義・演習	タイム感とグルーヴ②	休符を意識したフレーズ作成 ファンク系楽曲を聴く
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ルート弾き曲を1曲コピー ドラムを聴く習慣をつける
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	右手ミュート練習 簡単なファンクラインをコピー
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	3度・7度を探す練習 ゆっくりラインを歌う
7		講義・演習	中間課題準備	自分の演奏を録音 改善点メモ
8		講義・演習	中間発表	本番状態まで仕上げる
9		講義・演習	ライン構築①(基礎)	簡単なコード進行を書き出す 自分でラインを作る
10		講義・演習	ライン構築②(発展)	自作フレーズを3つ作る 歌うように弾く練習
11		講義・演習	アレンジと役割理解	曲構造を理解する(A/B/サビ) ベースが変わる箇所を探す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	他パートを意識して録音 音数を減らしてみる
13		講義・演習	最終発表	録音または本番準備 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Drum(7))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	楽曲に応じて適切なビートを選択できる 他パートと連動した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	得意パターンを1つ演奏準備 自分の強み・弱みを書き出す
2		講義・演習	タイム感トレーニング①	BPM固定で単純ビート継続練習 録音してズレを確認
3		講義・演習	タイム感トレーニング②	同じビートを前後ノリで叩き分け 好きなドラマーのノリ分析
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ロック／ポップを聴き比べ 基本パターンを叩き分け
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	スネアの弱打練習 ファンクを聴いてノリを感じる
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	音数を減らしたビート叩く R&B系ドラマーの研究
7		講義・演習	中間課題準備	曲を通して演奏できる状態にする 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番レベルで準備
9		講義・演習	フィルイン構築①	2拍・1小節フィルを作る フィルばかり叩かない練習
10		講義・演習	フィルイン構築②	自作フィル3パターン 強弱をつける練習
11		講義・演習	楽曲構造とドラミング	曲構成を分析 セクションごとの叩き分け
12		講義・演習	アンサンブル実践	他パート意識で演奏 音を聴く練習(自分8:周り2→逆へ)
13		講義・演習	最終発表	本番想定で仕上げ 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Guitar(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、 演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。 ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、 現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	トーンメイク(音作り)	使用機材整理 自分の音を録音して課題抽出
3		講義・演習	フレーズデザイン	自作フレーズ3つ作る 良いフレーズの分析
4		講義・演習	ジャンル融合	異なるジャンル2つ選び比較 ミックス案考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 コード・構造分析
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンプル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識して練習 バックイング中心で練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Bass(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	山本 詠
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、 グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、 “バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドメイク	自分の音を録音 音の課題把握
3		講義・演習	ラインデザイン①	ルート中心ライン作成 不要な音削る練習
4		講義・演習	ラインデザイン②	フレーズ3つ自作 “歌える”ライン考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 元ラインをコピー
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンブル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	ドラムを聴く グルーヴ練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Drum(8))	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドコントロール	タッチ意識練習 録音確認
3		講義・演習	フィルデザイン①	フィル3種作る
4		講義・演習	フィルデザイン②	強弱つきフィル練習
5		講義・演習	アレンジ実践①	対象曲のドラム譜 or 耳コピ 自分なりの別案1つ考える
6		講義・演習	アレンジ実践②	曲構成を書き出す 各セクションで叩き分け案
7		講義・演習	セッション対応①	シンプルビート大量反復
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				